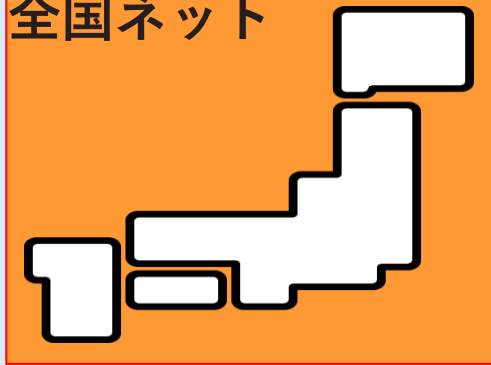


自閉症eサービス
全国ネット



PECS® レベル1 ワークショップ



自閉症eサービス「全国プログラム」で、表出コミュニケーション支援のオンラインセミナー、PECSレベル1ワークショップを開催します。

自閉症のある方とのかかわりの中で、特に表出コミュニケーションは意思決定支援にもつながる大切な要素です。

この機会に、実生活で活用できるPECSの正しい知識と実践を学んでみませんか。みなさまのご参加、お待ちしております。

PECSとは、日常生活に必要なコミュニケーションを教えていくものです。ほしいものの名前を言うことはあっても伝えにくることがない。特定の人にはわかるけど、他の人にはわからない。伝えたいことはあるが、話し言葉をもっていないために伝える手段がないなど、表出コミュニケーション支援が必要な人が使っていくことができます。

開催日 : 2022年12月10日(土) 10:00~17:00

2022年12月11日(日) 10:00~17:00

定員 : 先着50名(両日ともにご参加いただける方)

締切り : 2022年11月28日(月) ※定員に達し次第受付終了

研修形式 : Zoomでおこないます ※両日ともに9:45~Zoomに入室可能

受講料 :
(特別価格)

年間パスあり

16,000円

受講料には、PECSトレーニングマニュアルは含まれていません。必要な方は、別途購入する必要があります。

一般(年間パスなし)

26,000円

※価格はすべて税込み

お申し込み: 自閉症eサービス全国ネットホームページより

<https://jiheishou-e.com/>



PECSトレーニング
マニュアル第2版

※この研修では、PECSトレーニングマニュアル第2版を使用します(必携)。トレーニングマニュアルをお持ちでない方は、ピラミッド教育コンサルタントのホームページまたはAmazonにてご購入ください。

<https://pecs-japan.com/> (ピラミッド教育コンサルタント)

PECSレベル1ワークショップ

- ピラミッドの体系図形で表される、効果的な指導環境を作るための鍵となる要素
- コミュニケーションの機会をたくさん作るための方略
- PECSと伝統的なコミュニケーションの指導方法との関連性
- PECSの6つのフェイズ(指導段階)と、それぞれの具体的な指導方法
- PECSを卒業するための基準

PECS フェイズ

フェイズI コミュニケーションの仕方 ・自発的要求 ・2人制のプロンプト手続き ・カードをつかむ、手を伸ばす、手渡す		フェイズII 距離と持続性 ・コミュニケーションパートナーへの移動 ・PECSブックを持ち運ぶ ・障害要因(障害)を乗り越える粘り強さ	
フェイズIIIA 単純な弁別 ・とっっても好きなもの vs. 好きでないもの ・1/2秒ルール ・4ステップエラー修正手続き		フェイズIIIB 条件性弁別 ・対応チェック ・4ステップエラー修正手続き ・ブックの中からカードを探す	
フェイズIV 文構成 ・文構成と文カードの交換 ・バックステップエラー修正手続き ・一定時間遅延プロンプト		属性語 叙述の語彙 ・特定のアイテムを要求する ・大きさ、色、形など ・動作を表す言葉	
フェイズV 応答的要求 ・自発的な要求を維持する ・漸進的時間遅延		フェイズVI コメント ・応答的なコメント ・述語カードの弁別 ・自発的なコメント	

PECS
www.pecs.com
©2012, Pyramid Educational Consultants
"FLEX your PECS!"

コミュニケーションをしやすいするための効果的な環境設定について説明します。講師によるデモンストレーションや映像を使っての例題への実技、参加者同士でロールプレイなどをおこないながら自発的に要求を教える方法や属性語、質問やコメントなどについての6つの指導段階(フェーズ)について学びます。

また、PECSから拡大・代替コミュニケーション(ACC)などの他のデバイスへ移行する基準についての議論もおこないます。

ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン(株)より



お申し込みはコチラ↑

お申し込み: 自閉症eサービス全国ネットホームページより
<https://jiheishou-e.com/>

全国ネット



自閉症 e サービス

講師: ネグロン ちひろ 氏(ピラミッド教育コンサルタントジャパン)

神戸市外国語大学卒業後、ニュージャージー州立ラトガーズ大学に留学して教育心理学を専攻し教育学修士を取得。その後、Durand Academy and Community Servicesにおいて、学校や成人施設において発達障がいの人に対し、行動介入法、Pivotal Response Training、スタッフトレーニング、ペアレントトレーニングなど応用行動分析(ABA)に基づいた様々な支援プログラムに精通している。

